



7月7日、七夕の夜。甲府の空にもベガやアルタイルがきれいに輝いていました。相川小学校の玄関にもきれいな星が瞬いています。児童会で取り組んでいる「輝く相川の空プロジェクト」です。友達

や先生に対する感謝や尊敬の気持ちを星のカードに書いて、キラキラ輝く相川の空を作る活動です。感謝や尊敬の気持ちを目に見える形で表現し、みんなで共有できる素晴らしい活動だと私は感じています。

前号の学校だよりで、「心理的安全性」（組織の中で自分の考えや気持ちを誰に対してでも安心して発言し、生活できる状態）に関する話題に触れました。相川小学校全体においても、各教室においても、児童・職員の心理的安全性が向上する学校経営を目指しています。心理的安全性を高めるための方策が様々な調査・研究の結果、提案されています。有効な方策の一つに、「感謝の気持ちを日常的に持つ」があります。「やってくれてありがとう」という感謝の気持ちの対極となるのが、「やってくれて当然。何でやってくれないんだ。」という怒りです。「やってくれた」ことに目を向けて感謝するのか、「やってくれない」ことに目を向けて怒りを感じるのかによって、その集団の心理的安全性は大きく変化していくでしょう。児童と児童の間においても、児童と職員の間においても、保護者の皆様と学校の間においても、「やってくれた」ことに目を向け、感謝し合えるような関係性を醸成させていきたいと考えています。心理的安全性に満ちた素敵な小学校をめざしています。



## 相川小学校の熱中症対策



7月に入り危険を感じるような酷暑が続きました。相川小学校では、児童を熱中症から守るため、様々な対策を講じています。

児童玄関に設置されている大型モニターには、熱中症予防を呼びかけるスライドが流れています。暑さ指数の数値が「警戒」以上になった場合には、注



意を呼びかける画面に変わります。児童はその画面を見て、自ら熱中症対策に取り組もうとします。自分の健康は自分で守る自助の精神を養いたいと考えています。

下校時には、各家庭でご用意いただいた帽子や日傘等を活用し、暑さから身を守っています。必要に応じて職員が付き添っています。地域の皆様も、炎天下に児童の下校を見守ってくださっています。地域、家庭、学校が協働して児童の健康・安全を守っている状況です。皆様に感謝申し上げます。



# 夏休みが始まります

## 各家庭で生活の指導をお願いします

7月19日に1学期の終業式が行われます。その後、夏休みがスタートします。夏休みの過ごし方について各家庭でご指導をお願いします。

「令和6年度相川小学校のきまり」では、校外生活について、「自転車の乗車範囲は校区内とするが、安全に留意する上で家庭の責任において範囲を拡大してもよい。ただし、2年生以下は道路では乗らない。」とあります。学校からの提案に対し、各家庭で判断していただく内

容になっています。特に夏休みは、生活の中心が家庭となります。夏休みを迎えるにあたって、遊んで良い範囲や、自転車の乗り方について、各家庭でのご指導をお願いします。

「令和6年度相川小学校のきまり」は、

相川小学校ホームページの上のメニューにある「方針・計画」→「学校生活ガイダンス」でご覧いただけます。電子配信版学校だよりでは、最終ページにリンクがあります。

## 相川小学校のコミュニティ・スクール



令和5年4月より、相川小学校ではコミュニティ・スクールのしくみを学校経営に取り入れています。

コミュニティ・スクールは、学校運営協議会を核として進められています。令和6年度の第1回学校運営協議会の様子は、学校だより令和6年度第1号で紹介させていただきました。

かなり前になりますが、コミュニティ・スクールとは何か、については学校だより令和4年度7月号で紹介させていただきました。電子版学校だよりでは、最終ページにリンクがありますのでご覧ください。

コミュニティ・スクールのしくみを取り入れから、学校がこれまでの教育活動を改善したり、新しい取組を模索したりするときに、地域や保護者の皆様からのご意見やご指導を得やすくなりました。学校の見識だけでは得ることのできなかつた多面的・多角的な視点での検討ができるようになっていきます。

今後、地域の皆様や保護者の皆様から新しい提案があったときにも、コミュニティ・スクールの学校運営協議会で検討の機会を持ち、より良い学校経営につなげていきたいと考えています。



## たくさんの植物が育ちました



相川小学校の校舎前には、たくさんの植植物たちが、みずみずしく育っています。1年生が育てている朝顔、2年生が育てているミニトマト、3年生が育てている野菜の数々。児童一人一人が、自分の鉢に毎朝かかさず丁寧に水やりを続け、きれいなお花や、実を育てることができました。6年生も先日、ジャガイモの収穫を行いました。

学校生活の中では、児童一人一人が植物や生物を育てる場面がたくさんあります。それらの経験を通して、児童はそれぞれの思いを持つことができます。夏休みには、鉢を家に持って帰ってもらう学年もあります。保護者の皆様には、お手数をおかけしますが、ご協力をお願いします。



文責：校長 桐山 賢一